

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

公民 科目 シティズンシップ

教科： 公民

科目： シティズンシップ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A・B 組

教科担当者： 別木 萌果

使用教科書： ()

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 ・現代に生きる人間と公共社会についての見方・考え方を育む

【思考力、判断力、表現力等】 ・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】 ・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きることができ、平和で民主的な社会の形成者として必要な市民としての資質・能力・態度を育成する。

科目 シティズンシップ

目標： 多様な生徒が生き生きと学ぶことができる。生徒が主体的に学ぶことができる。より良い市民として社会をつくることができる。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|--|
| <p>・グローバル社会に生きるために必要な国際性や多文化共生社会で求められる知識や考え方を身に付ける。</p> <p>・生徒が現代の社会・政治・経済の基本的な知識を総合的・横断的に把握し、興味・関心を高める。</p> | <p>・知識を身に付けるだけでなく、生涯を通して学ぶことの大切さに気づき、創造力や批判的思考を養い、社会の中で人間らしく生きていくための方法を探することができるようにする。</p> <p>・事実や根拠をもとにして主体的に自らの思考・判断・表現できるようになる。</p> | <p>・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p> <p>・一人ひとりの主権者、市民として、多様性を尊重し、人権を尊重し、寛容な態度、協力し合うことの大切さを育む。</p> <p>・多様な他者と共に生き、協力して新たな社会を構築できるようになる。</p> |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|---|---|---|---|---|----------|
| <p>自分と向き合う</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・これまでの自分について認識を深め、よりよく生きるために、自己の生き方についての思索を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己を見つめることを通して、人間としての在り方生き方について思索する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。</p> | <p>・指導事項</p> <p>・世界的な課題について知り、現代世界が置かれている状況と課題に気付く</p> <p>・これまでの自分を見つめ、自分についての理解を深める</p> <p>・わたしの大切なものは何か調べる</p> <p>・楽しいこと・悲しいこと</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・世界的な課題について気づき、その基本的な知識を身に付けている。</p> <p>・自分をしっかり見つめることができているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・世界的な諸課題について考えることができ、文章やことばで表現できるか。</p> <p>・自己の内面形成とについて考察し、適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・世界的な諸課題に対応しようとする姿勢が見られるか。</p> <p>・自己を見つめ、自分自身を形成していこうとする態度や行動が見られるか。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>自己とアイデンティティ</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・自分自身を捉えなおし、自己のアイデンティティの形成についての知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己とアイデンティティについて、考えたり、認識しようとするともに、アイデンティティの大切さと多様性について考え、判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自己のより良い形成とアイデンティティの尊重について考察し、育むことができる。</p> <p>・個人の尊厳について考える。</p> | <p>・指導事項</p> <p>・自己形成とアイデンティティの確立について考える。</p> <p>・アイデンティティとは何か考えさせる。</p> <p>・自分の大切なものを気づく。</p> <p>・かけがえのない自分を認識する。</p> <p>・楽しいこと、悲しかったことリストづくり。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・自分自身を捉えなおすために必要な知識を身に付けることができたか。</p> <p>・アイデンティティとは何かについての知識を学ぼうとすることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・よりよい自己を形成しようとするために思考することができたか。</p> <p>・アイデンティティの大切さについて考え、多様なアイデンティティがあることに気付くことができるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自己を高め、より望ましい自己形成をはかるうとする姿勢が見られるか。</p> <p>・多様なアイデンティティを尊重しようとすることができるか。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| <p>個人の尊厳と人権</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・個人がどのように誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知る。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶ。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解する。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・個人がなぜ形成されるようになったのか気づく。</p> <p>・個人の尊厳の大切さについて考えることができる。</p> <p>・人権の考えが発展してきた理由や背景、根拠について学ぶ。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・個人の尊厳を大切にできる考えや姿勢を身に付ける。</p> <p>・人権を尊重し、人権大切にしようと考え、行動することができる。</p> | <p>・指導事項</p> <p>・個人の誕生と形成についての基礎的な知識が身に付くようになる。</p> <p>・個人の尊厳の大切についての具体的な知識を学ぶ。</p> <p>・人権思想の歴史や形成について学ぶ。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について考える。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・個人が誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知ることができた。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことができたか。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解することができたか。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究することができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・個人が誕生し、形成されてきたのか自分自身で考えることができたか。</p> <p>・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことが思考できたか。</p> <p>・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解し、思考判断することができたか。</p> <p>・人間の尊厳と自由、平等について探究し、表現することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・個人の尊厳について考えることで自分と他者を尊重するようになったか。</p> <p>・人権について考え、人権を尊重するために表現や行動に結び付けることができたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |

| | | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----|----|
| 2 学 期 | <p>他者と出会う</p> <p>【知識及び技能】 個人が他者をどのように認識するようになったのかを知る。社会の多様性について気づく。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 個人が他者とどう向き合い、関係を築いてきたのか、考えてみる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者を知り、他者を尊重し、寛容について実践してみようとする。</p> | <p>・指導事項</p> <p>・個人と他者との出会いについて気付かせる。</p> <p>・他者と自分との違いに気付かせる。</p> <p>・多様な他者が存在していることを認識できるようにする。</p> <p>・寛容とはなにか考えてみる。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・自分と他者との違いについて気付くことができたか。</p> <p>・多様性について知ることができたか。</p> <p>・寛容とは何か、思想史上の知識を身に付けることができたか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自分と他者との違いについて考えることができたか。</p> <p>・多様性について考えることができたか。</p> <p>・寛容について、人類の思想の特徴を考えることができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・他者について違いを認めようとする姿勢ができたか。</p> <p>・社会の多様性について、尊重しようとする姿勢が見られたか。</p> <p>・寛容性について、身に付けることができたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 14 | |
| | <p>市民として生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・一人一人が他者と共に生きることが出来る。</p> <p>・市民としてより良い社会を形成することができる。</p> <p>・よりよい民主社会の成り立ちと仕組みに気付く。主権者の学習。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・一人一人が他者と共に生きるためにどのような考えや力が必要なのか。</p> <p>・市民として市民社会を形成するために大切なこと</p> <p>・民主社会に参加し、構築するために求められるもの。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・他者と共に生きるために必要な力。</p> <p>・よりよい市民社会を形成するための市民力とは。</p> <p>・民主社会に参加するための資質とは</p> | <p>・指導事項</p> <p>・一人一人が他者と共に生きることが出来ることを考える。</p> <p>・市民としてより良い社会を形成することができるために何が求められるか。</p> <p>・よりよい民主社会の成り立ちと仕組みはどのようになっているのか。</p> <p>・市民としてどう行動できるか。</p> <p>・主権者としての姿勢を身に付けることができるようにする。</p> <p>内容</p> <p>・一人1台端末の活用</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・他者と共に生きることが出来るか。</p> <p>・市民としてより良い社会を形成することができるか。</p> <p>・よりよい民主社会の成り立ちと仕組みに気付くことができるか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・他者と共に生きるためにどのような考えや力が必要なのか考えることができるか。</p> <p>・市民として市民社会を形成するために大切なことを表現できているのか。</p> <p>・民主社会に参加し、構築するために求められるものは何か、考えることができるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・他者と共に生きるために必要な力を身に付けることができたか。</p> <p>・よりよい市民社会を形成するための市民、主権者として行動できたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 14 | |
| | <p>市民として生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>1年間の学習で学んだことを確認する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>1年間の学習で考えたことをまとめ、自分の判断が持てるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>1年間の学習で学んだことを、自分自身のこととして関心を持つ。</p> | <p>指導事項</p> <p>・1年間の学習で学んだことを、自分のことばでまとめることができるようになる。</p> <p>・自分自身のこととして、他者と共に生きることを考えることができるようになる。</p> | <p>市民として生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・1年間の学習で身に着けた知識をまとめてみる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・1年間の学習で学んだ知識を通して、思考し、自分の判断が持てるようになったか。</p> <p>・世界的な課題を多角的・多面的に考察することができたか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>世界的な諸課題について、自分自身のこととして関心を持つことができたか。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 | |
| | | | | | | | 合計 | 70 |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A, B 組

教科担当者： (A, B組： 鯉沼宏仁 板井勝典)

使用教科書： (高校数学Ⅱ (美教出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けられるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができるようにする。 | 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に变形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができるようにする。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりする態度を育む。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|--|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | ・一般部について三角関数の値を考え、それらをもとに三角関数の相互関係や性質、グラフを学ぶ。 | 3章 いろいろな関数 1節 三角関数 1. 一般角 2. 三角関数 3. 三角関数の相互関係 4. 三角関数の性質 | 【知識・技能】 ・角の概念を一般角まで拡張する意義について理解できる。 ・一般角について三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数の性質を利用して、いろいろな三角関数の値を求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・一般角の三角関数においても、相互関係を利用して、1つの三角関数の値から残りの三角関数の値が求められることを考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角関数について興味をもち、様々な三角関数の値を求めようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) | ○ | | | 10 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | ・指数を0や負の整数、分数に拡張し、指数法則について考察する。 | 3節 指数関数 1. 指数の拡張(1) 2. 累乗根 3. 指数の拡張(2) | 【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解できる。 ・指数法則を用いて数や式の計算ができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・累乗根を含む式の計算について、指数法則を利用して考察できる。 ・指数関数を利用して、指数にxを含む方程式を解くことを考察できる。(授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数が正の整数から有理数へ拡張していく過程に関心をもっている。 ・身の回りの現象で、指数関数のような変化をするものを探そうとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) | ○ | | ○ | 15 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 3 | |
| 2 学 期 | ・対数の意味を理解し、対数の性質を用いた基本的な計算の仕方を学ぶ。 | 4節 対数関数 1. 対数 2. 対数の性質 | 【知識・技能】 ・対数の意味とその基本的な性質を理解できる。 ・対数の定義に基づいて、対数の値を求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・指数と対数を相互に関連付けて考察できる。 ・対数の性質を利用して、対数の計算をすることを考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数と対数の関係に関心をもっている。 ・身の回りの現象で、対数関数のような変化をするものを探そうとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。) | ○ | | ○ | 14 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科：理科

科目：地学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組 ～ B 組

教科担当者：（A・B組：秋元 翔）

使用教科書：（高等学校 改訂 地学基礎 第一学習社 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 地学基礎

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--------------------------|--|
| 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 | 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 相当時数 |
|--|---|--|--|---|---|---|------|
| | | | | | | | |
| 1 学期 | A 単元 大地とその動き 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 大地とその動き ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | B 単元 地震 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 地震 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | C 単元 火山活動 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 火山活動 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| D 単元 地球大気構造 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 地球大気構造 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|---|
| 2 学 期 | E 単元 大気の特徴とその構造 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 大気の特徴とその構造 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | F 単元 海水の特徴とその運動 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 海水の特徴とその運動 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | G 単元 日本の天気と気象災害 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 日本の天気と気象災害 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | H 単元 宇宙の構造と進化 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 宇宙の構造と進化 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | I 単元 太陽系の進化 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 太陽系の進化 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | J 単元 地層と化石の観察 【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | ・指導事項 地震と化石の観察 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|---|---|----|---|
| 3 学 期 | <p>K単元 古生物の変遷と地球環境</p> <p>【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> | <p>・指導事項 古生物の変遷と地球環境 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | <p>L単元 日本の恵みと防災</p> <p>【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> | <p>・指導事項 日本の恵みと防災 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | <p>M単元 地球環境と私たちの生活</p> <p>【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> | <p>・指導事項 地球環境と私たちの生活 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>N単元 これからの地球環境</p> <p>【知識及び技能】 単元について理解するとともに、それらの観察、実習などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 単元について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> | <p>・指導事項 これからの地球環境 ・教材 教科書、プリント、ノート ICT機器 ・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】 単元について理解するとともに、惑星としての地球について、科学的に探究するために必要な観察、実習などに関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元について、観察、実習などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 78 | |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（A組：河合・松本）（B組：河合・松本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|--|---|---|---|---|----------|
| A 体づくり運動 【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組ませるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをさせ、健康・安全を確保させる。 | 体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆつくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動 | 【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いを大切にしようとするなどをしていたり、健康・安全を確保しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| B フライングディスク 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしたり、健康・安全を確保する。 | 個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ビボット&フェイク、レーザーへのパス、カットイングを身につける ・集団技能 ・速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしたり、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| C ソフトボール 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などについて理解する。（技能） | 個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエンドラン | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|----|
| <p>どによって攻防する。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p> | <p>ドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。</p> | <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|---|---|---|---|---|---|----|

| | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----|
| | <p>D バドミントン</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p> | <p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サーブス、レシーブなどを身に付ける。 <p>ダブルスに関わる技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p> | | | | 10 |
| | <p>E 陸上競技(長距離)</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。</p> | <p>持久走</p> <p>決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 2 学 期 | <p>F サッカー</p> <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。</p> | <p>個人技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パス、とラッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 <p>集団技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識)</p> <p>安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。(技能)</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----|
| 3 学 期 | F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。 | 個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | G バスケットボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。 | 個人技能 ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | H 卓球 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。(知識) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。 | 個人技能 ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。 | 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。(知識) 安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。(技能) 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 合計 | | | | | | | 70 |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 美術 科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 美術2 美術Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 4 学年 A・B 組
 教科担当者： (A・B組：大西 房子)
 使用教科書： (美術Ⅱ 日本文教出版)
 教科 美術Ⅱ の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 | 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | ●表現の可能性を探る ○鉛筆による自己表現 ○色鉛筆による彩色 ○水による演出。空間感じ、質感を生かし、心情をとらえ表現する。 【知識及び技能】 画材の技法、可能性を知る。対象の形や色彩、性質や造形的な特徴をイメージや作風として捉えられる。意図に応じて 材料や用具の特性を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフ素材から感じ取った特徴や、自分の思いなどから形や色、構図、材料や 用具の特性などを活かす。工夫しながら創造的に表す。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。 | オリエンテーション、 ○鉛筆による自己表現、グレースケール。鉛筆の性質や特徴を理解。 ○ デッサン表現の基礎的な考え方(調子、光、陰 影、立体感など)について理解する。色彩表現の可能性を探る。 ○絵具による演出を学ぶ 絵具の濃淡や重ね、滲み、暈しの美しさや、遠近感を工夫することによって 絵画的空間を表現。 ・教材：鉛筆、色鉛筆、絵具、練り消し、画用紙、教科書 ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 形や色彩、材料などの性質を理解している。造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などを捉えている。意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫しながら創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取った特徴などから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考える。創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。 ・プリント提出 ・作品提出 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | ○有彩色にデッサン 【知識及び技能】 基礎となる線を丁寧に追える。対象の形や色彩、性質や造形的な特徴をイメージや作風として捉えられる。意図に応じて 材料や用具の特性を生かす。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフから感じ取った特徴や、自分の思いなどから形や色、構図、材料や 用具の特性などを活かす。工夫しながら創造的に表す。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。 | ○ デッサン表現の応用(調子、光、陰 影、立体感など)についてさらに理解する。モノトーン表現の可能性を探る。 ・教材：鉛筆、色鉛筆、絵具、練り消し、画用紙、様々な道具、教科書 ・作業プリント ・一人1台端末の活用 等 | 【知識及び技能】 形や色彩、材料などの性質を理解している。造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などを捉えている。意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫しながら創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取った特徴などから主題を生成し、形や色、構 図、材料や用具の特性などについて考える。創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、絵画の表現および鑑賞にも取り組む。 ・プリント提出 ・作品提出 | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 2 学 期 | ●身近にあるものをデザインする。 ○カトラリー作り～用途のある彫刻表現 ・錫のスプーン：錫の鋳造と鍛造加工 ・木の箸：木彫、摺り漆 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組む。 | ・参考作品鑑賞するとともに制作手順を把握し、自身の作品の構想を練る。 ・資料収集やエスキースからアイデアを固める。 ・金属の特性を知る。 ・素材を生かしたデザインを考える。 ・制作工程を意識し、道具の特性を生かして制作を行う。 ・審査・鑑賞 ・教材：鉛筆、様々な道具、教科書 ・作業プリント ・一人1台端末の活用 等 | クラフトデザイン 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。 ・プリント提出 ・作品提出 | ○ | ○ | ○ | 20 |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|----|
| <p>○石膏を使ったディフューザーまたは一輪挿し・抽象的な立体表現</p> <p>【知識及び技能】・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。</p> <p>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表わす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組む。</p> | <p>○石膏の扱い方を理解する。</p> <p>・素材の特性を生かしたデザインを考える。</p> <p>・制作工程を意識し、道具の特性を生かして制作を行う。</p> <p>・作業プリント</p> <p>・審査・鑑賞</p> | <p>プロダクトデザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。</p> <p>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組もうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p> <p>・プリント提出</p> <p>・作品提出</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
| <p>●脊椎動物を作る。</p> <p>○針金を軸に骨格を意識して動きのある脊椎動物を作る。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。</p> <p>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表わす。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組む。</p> | <p>・参考作品鑑賞するとともに制作手順を把握し、自身の作品の構想を練る。</p> <p>・資料収集やエスキースからアイデアを固める。</p> <p>・骨格の理解。骨にどう筋肉がついているのか考え造形する。</p> <p>・コマ撮り画像とし動画を撮る。</p> <p>・作業プリント</p> <p>・審査・鑑賞</p> | <p>立体造形デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。</p> <p>・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表そうとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・造形的な良さや美しさを感じ取り自ら様々な表現に取り組もうとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・主体的に抽象表現の及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p> <p>・プリント提出</p> <p>・作品提出</p> | ○ | ○ | ○ | 18 |
| 3 学 期 | | | | | | 合計 |
| | | | | | | 78 |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 商業 科目 ビジネスコミュニケーション

教科：商業 科目：ビジネスコミュニケーション 単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組・B組

教科担当者：（A組：佐伯 和昭）

使用教科書：（ビジネス・コミュニケーション）

教科 商業 の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わるものとして科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネスコミュニケーション の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|--|
| 実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技能を身につける。 | ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として根拠に基づいて考え、適切に判断・解決する力を養う。 | ビジネスを円滑に展開するコミュニケーション能力の向上を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----------|
| | | | | | | | |
| 1 学 期 | 企業における組織に関する知識と人間関係を円滑にするための基本的な心構えを身につける。 | ・指導事項 1章 企業の組織と人間関係 ・教材 教科書、授業プリント ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | 【知識・技能】 ビジネスにおけるコミュニケーションの概要について理解しているか。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションの意義と課題について、ビジネスの円滑な展開と関連について見出ししているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他社とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協働的に取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 応対に関するビジネスマナーにおける知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | ・指導事項 2章 応対に関するビジネスマナー ・教材 教科書、授業プリント ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | 【知識・技能】 ビジネスにおけるコミュニケーションの概要について理解しているか。 【思考・判断・表現】 コミュニケーションの意義と課題について、ビジネスの円滑な展開と関連について見出ししているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協働的に取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 交際に関するビジネスマナーにおける知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | ・指導事項 3章 交際に関するビジネスマナー ・教材 教科書、授業プリント ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | 【知識・技能】 ビジネスマナーについて、実務に即して理解し、関連する技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】 ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、場面に応じてビジネスマナーを評価・改善することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協働的に取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 | 接客に関するビジネスマナーにおける知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | ・指導事項 4章 接客に関するビジネスマナー ・教材 教科書、授業プリント ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | 【知識・技能】 ビジネスマナーについて、実務に即して理解し、関連する技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】 ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、場面に応じてビジネスマナーを評価・改善することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協働的に取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | コミュニケーションの役割と思考法における知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | ・指導事項 5章 コミュニケーションの役割と思考方法 ・教材 教科書、授業プリント ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | 【知識・技能】 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけているか。 【思考・判断・表現】 ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、場面に応じて試行して、コミュニケーションを図り、評価・改善しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスに | ○ | ○ | ○ | 12 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---|---|---|----|----------|
| | の取り組み | におけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協同的に取れているか。 | | | | | |
| ビジネスにおけるコミュニケーション知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 6章 ビジネスにおけるコミュニケーション 7章 コミュニケーションとビジネススキル ・教材 教科書、授業プリント ・一人2台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションについて実務に即して理解するとともに、関連する技術をみにつけているか。 【思考・判断・表現】ビジネスの場면을分析し、科学的な根拠に基づいて、場面に応じて試行して、コミュニケーションを図り、評価・改善しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協同的に取れているか。 | ○ | ○ | ○ | 15 | |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学 期 | 国内外におけるビジネスの会話に関する知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 ビジネス文書と電子メールに関する知識と技能を身につけ、実践できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 9章 ビジネスの会話 10章 ビジネス文書と電子メール ・教材 教科書、授業プリント ・一人2台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】ビジネスに必要な外国語について実務に即して理解すると友野、関連する技術を身につけているか。 【思考・判断・表現】ビジネスの場면을分析し、科学的な根拠に基づいて、場面に応じて外国語を用いてコミュニケーションを図り、評価・改善しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネスにおけるコミュニケーションについて自ら学び、ビジネスにおいて他者とコミュニケーションを図ることを主体的にかつ協同的に取れているか。 | | | | 12 |
| | | | | | | | 合計 78 |

高等学校 令和8年度 (4学年用) 教科

外国語 科目 はじめてのハングル

教科： 外国語

科目： はじめてのハングル

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A・B 組

教科担当者： 柳虎順

使用教科書： (チンチャ! チョアヘヨ!! 韓国語1)

教科 はじめてのハングル

の目標：

【知識及び技能】 韓国語の文字、発音、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 韓国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて身近で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 韓国語とその背景にある韓国の文化や社会の特徴などについて理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。韓国語の特性や韓国語を使用する人々の考え方、価値観に関心を持ち、日本及び韓国に住む人々の文化や社会に目を向け、比較対照しつつ理解しようとする態度を養う。

科目 はじめてのハングル

の目標：

高校初修外国語の見方・考え方を動かせ、韓国語の文字、発音、語彙、表現、特徴などを学び、韓国語による言語活動を通して身近で簡単な情報や考え方などを理解したり目的や場面、状況に合わせて表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を身に付ける。韓国語とその背景にある韓国の文化や社会の特徴などについて理解し、相手に配慮しながら主体的に楽しみながらコミュニケーションができる土台となる態度を涵養する。

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 韓国語の文字、発音、語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。 | 韓国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて身近で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を付ける。 | 韓国語とその背景にある韓国の文化や社会の特徴などについて理解し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。韓国語の特性や韓国語を使用する人々の考え方、価値観に関心を持ち、日本及び韓国に住む人々の文化や社会に目を向け、比較対照しつつ理解しようとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 | |
|--|---|----|---|----------|----------|---|---|---|---|------------------|----|
| | | 聞 | 読 | 話 〔や〕 | 話 〔発〕 | | | | | | |
| 単元 第1部 1. 韓国語について 2. 文字と発音編 (1-3) 【知識及び技能】 ・ハングルの音節の構造について理解し、単母音と子音を組み合わせして簡単な単語を読んだり書いたりできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教室で使う表現の一部を理解し、行動することができる。色々な挨拶表現を理解し、状況に合わせて使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・新しいクラスメートと挨拶を交わし、自己紹介を含め授業を選択した動機や自分の目標について話すことができる。 ・ハングルの歴史や特徴について理解し、身近な文化や社会の背景を学ぶことができる。 | 【指導事項】 ・ハングルの歴史や仕組み、音節の構造について ・単母音と子音(鼻音、流音、平音)の読み書き ・単母音と子音の組み合わせでできている単語の読み書きや意味 ・教室や授業中使う韓国語の表現 ・漢数詞(1~5)の数え方 【教材】 ・「ひとこと韓国語」 ・ワクワクハングルワークブック ・授業の振り返りシート | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・ハングルの仕組みや音節の構造について理解し、単母音と子音(鼻音、流音、平音)の組み合わせで簡単な単語を正しく読んだり、書いたりする技能を身に付けている。 ・教室や授業中使う韓国語の表現について理解している。 ・色々な場面や状況で使う挨拶表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教室や授業中使う韓国語の表現を聞いて、その意味を考え適切に行動している。 ・色々な場面や状況に合わせて適切な挨拶表現を選び、互いに挨拶している。 ・発音の似ている母音について、その音声の特徴を考えながら自ら発音したり、韓国語話者の発音を聞いて正しい発音を選択している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業の振り返りシートを作成し、自分 | ○ | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 単元 第1部 2. 文字と発音(4-5) 【知識及び技能】 ・ハングルの二重母音の構成について理解し、子音と組み合わせして簡単な単語を読んだり書いたりできる。 ・有声音化(1)の意味を理解し、適用して発音することができる。 ・子音(激音、濃音)の音声の特徴について理解し、正しく発音する力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「ひとこと韓国語」の表現を使い、簡単な自己紹介をすることができる。(聞いて話す) 【学びに向かう力、人間性等】 ・韓国語と日本語において、漢字語活用の共通点や相違点などについて考える。 ・韓国語と日本語の文の構造について、共通点や相違点などについて考える。 | 【指導事項】 ・二重母音と子音(激音、濃音)の読み書き ・母音と子音(激音、濃音)の組み合わせでできている単語の読み書きや意味 ・有声音化(1)による発音の仕方について ・名前、国籍、学校、学年を伝えるための表現 【教材】 ・「ひとこと韓国語」 ・ワクワクハングルワークブック ・授業の振り返りシート | ○ | ○ | ○ | ○ | 【知識及び技能】 ・ハングルの仕組みや音節の構造について理解し、母音(単母音、二重母音)と子音(激音、濃音)の組み合わせで簡単な単語を正しく読んだり、書いたりする技能を身に付けている。 ・簡単な自己紹介に必要な語彙・表現(名前、国籍、学校、学年)を理解している。 ・有声音化(1)による発音の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同じく発音されている二重母音3つについて、単語によって使い分けをしている。 ・発音の似ている子音について、その音声の特徴を考えながら自ら発音したり、韓国語話者の発音を聞いて正しい発音を選択している。 ・単語や表現などを見て有声音化の状況にあるか判断し、正しい発音で話している。 ・自己紹介に必要な語彙・表現を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業の振り返りシートを作成し、自分 | | | | | 8 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 1 学 期 | <p>単元 第1部 2. 文字と発音(6)ーパッチム</p> <p>【知識及び技能】 ・パッチム「ㄴ, ㄷ, ㄹ, ㅇ」の発音の仕方を理解し、それらのパッチムを含む単語の読み書きができる。 ・有声音化(2)の意味を理解し、適用して発音することができる。 ・パッチム「ㄷ(=, ㅌ), ㄹ(ㄹ, ㄺ, ㄻ)」の発音の仕方を理解し、それらのパッチムを含む単語の読み書きができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「ひとこと韓国語」の表現を使い、簡単な自己紹介をすることができる。(聞いて話す)</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・年齢に関する韓国と日本の認識の違いなどについて理解し、自国の文化と韓国の文化を尊重する態度を養う。</p> | <p>【指導事項】 ・パッチム「ㄴ, ㄷ, ㄹ, ㅇ」の発音の仕方 ・有声音化(2)による発音の仕方 ・パッチム「ㄷ(=, ㅌ), ㄹ(ㄹ, ㄺ, ㄻ)」の発音の仕方 ・固有語数詞の教え方 ・年齢を伝え合うための表現 ・住まいを伝え合うための表現</p> <p>【教材】 ・「ひとこと韓国語」 ・ワークシート ・授業の振り返りシート</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・パッチム「ㄴ, ㄷ, ㄹ, ㅇ」の発音の仕方について理解し、正しく発音する力を身に付けている。 ・有声音化(2)による発音の変化について理解している。 ・パッチム「ㄷ(=, ㅌ), ㄹ(ㄹ, ㄺ, ㄻ)」の発音の仕方について理解し、正しく発音する力を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・聞き慣れないパッチムの発音について、発音の仕方を考えながら、それらを含む単語や表現などを正しく発音している。 ・単語や表現などを見て有声音化の状況にあるかどうかを判断し、正しい発音で話している。 ・自己紹介に必要な語彙・表現を用いて話している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業の振り返りシートを作成し、自分の学習について考察している。 ・やりとりのとき、学年やクラスを超えて自ら積極的にやりとりしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>単元 第二部 1課 저는 스포츠 키타입입니다。</p> <p>【知識及び技能】 ・自己紹介に必要な語彙(国名、職業、学校、学年、年齢、住まい、趣味、部活動など)、表現、文法(は、です、ではありません)、言語の働きを理解する。 ・韓国の高校生とのオンライン交流のための自己紹介用のビデオを作成するのに必要な表現やアプリなどを活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・韓国の高校生とのオンライン交流のために自分のことについて、基本的な語句や文を用いて、魅力的で分かりやすい自己紹介用のビデオを作成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分のことについて深く考え、それらを魅力的で分かりやすく伝えるための方法について調べ、適切な方法を選択してビデオを作成しようとする。</p> | <p>【指導事項】 ・テキストやの語彙や文法【は、です、ですか】・表現 ・助詞【の】の活用や発音の変化 ・自己紹介文作成(挨拶、名前、国籍、学校、学年、年齢、住まい、趣味、部活動、好きなこと、希望、経験など) ・自己紹介撮影に向けた練習を指導</p> <p>【教材】 ・テキスト、「ひとこと韓国語」、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・自己紹介に必要な語彙(国名、職業、学校、学年、年齢、住まい、趣味、部活動など)、表現、文法(は、です、ではありません)、言語の働きを理解している。 ・韓国の高校生とのオンライン交流のための自己紹介用のビデオを作成するのに必要な表現やアプリなどを活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・韓国の高校生とのオンライン交流のために自分のことについて、基本的な語句や文を用いて、魅力的で分かりやすい自己紹介用のビデオを作成している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分のことについて深く考え、それらを魅力的で分かりやすく伝えるための方法について調べ、適切な方法を選択してビデオを作成しようとしている。 ・授業の振り返りシートを作成し、自分の学習について考察している。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | | | | | | ○ | ○ | | 2 |
| | <p>単元 2課 저것은 교과서가 아닙니다。 3課 오후에 수업이 있습니까?</p> <p>【知識及び技能】 ・人やもの位置について伝え合うために必要な語彙、表現、文法(가, に(存在)), 言語の働きを理解して、正しく書いたり話したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・韓国からホームステイに来る留学生に自分の家や部屋を選択させるため、自宅や部屋にあるものについて、簡単な語句や文を用いて書いて説明する。 ・クラスメートの発表を聞いて、留学生の立場から自分の意見や感想を考えて日本語で話す。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・韓国と日本の住宅や部屋の違いなどについて調べ、留学生が泊まりたいと思うような家または部屋を韓国</p> | <p>【指導事項】 ・テキストやの語彙や文法【ですの否定形、存在動詞】・表現 ・【こそあど言葉】 ・インタビューの文の作成を指導 ・インタビューの練習を指導</p> <p>【教材】 ・テキスト ・ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 ・人やもの位置について伝え合うために必要な語彙、表現、文法(가, に(存在)), 言語の働きを理解して、正しく書いたり話したりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・韓国からホームステイに来る留学生に自分の家や部屋を選択させるために、自宅や部屋にあるものについて、簡単な語句や文を用いて書いて説明している。</p> <p>・クラスメートの発表を聞いて、留学生の立場から自分の意見や感想を考えて日本語で話している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・韓国と日本の住宅や部屋などの違いに自ら気づきを得ている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |

高等学校 令和8年度（4学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組 B 組

教科担当者： 佐々木友子 河合則子

使用教科書： ()

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】・各講座によりスキルを身に付けること

【思考力、判断力、表現力等】・各講座によりスキルを表現すること

【学びに向かう力、人間性等】・各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

科目 総合的な探究の時間

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|-------------------|------------------|-------------------------|
| 各講座によりスキルを身に付けること | 各講座によりスキルを表現すること | 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|--|------------|--|---|---|---|----------------|
| 1 学期 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢 | 進路に対する情報収集 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 2 学期 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢 | 進路に対する情報収集 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。 | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 3 学期 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢 | 進路に対する情報収集 | 【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。 | ○ | ○ | ○ | 11 合計 39 |